

事前評価個表

整理番号	18
------	----

地域（地区）名	<small>しまんとがわ</small> 四万十川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	高知県	対象市町村	<small>すさきし</small> 須崎市ほか10市町村
事業実施期間	H29 ～ H33（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は高知県の西部に位置し、東は土佐湾に面し、北西部は天狗高原とこれに連なる四国山地により愛媛県と境を接している。</p> <p>本地区の私有林面積は199千ha、蓄積は57,944千m³であり、国有林を含めると区域面積の約90%近くを森林が占めている。人工林面積は、119千ha（人工林率60%）、Ⅷ齢級以上のスギ・ヒノキの面積が106千haを占め、人工林1ha当たりの蓄積量が430m³となるなど優良な人工林が形成されている。また、間伐等の手入れの必要な区齢以下の森林面積は30千haとなっており、森林の多面的機能を持続的に発揮させるための適切な森林整備を推進することが課題となっている。</p> <p>本地区では、対象市町村が市町村森林整備計画を策定し、豊かな森林資源を活用した地域振興を目指している。また、森林資源の適正管理、有効利用の観点から、森林経営計画の策定エリア拡大を推進し、施業地の集約化を進め、高性能林業機械等による生産性の向上を図り、生産コスト縮減及び間伐材等の有効利用拡大を目指している。</p> <p>本県では四万十川流域の環境保全及び流域の振興を目的に「四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例」を制定している。本計画では、同条例に基づいた自然条件に応じた適正な森林整備が計画されており、適正な人工林の管理による保水力の向上や自然浄化機能の向上が期待される。また、合板・製材生産性強化対策事業や県単独事業との連携を図りつつ、効率的な事業の推進を図る。</p> <p>このため、本事業では効率的な施業に不可欠な路網整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：9,159ha 人工造林、下刈、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：7,920m 林業専用道</p> <p>総事業費：5,194,700千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.18 (総便益(B) = 19,609,352千円、総費用(C) = 6,170,196千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の分布状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果からも、十分な効率性が確認される。</p> <p>有効性：森林の多面的機能の維持増進、森林資源の有効活用の観点から当該計画の有効性は高い。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:高知県

地域(地区)名:^{しまんとがわ}四万十川

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源 ^{かん} 涵養便益	洪水防止便益	2,973,408	
	流域貯水便益	1,220,086	
	水質浄化便益	2,649,598	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,938,815	
環境保全便益	炭素固定便益	5,455,549	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	25,474	
	木材利用増進便益	8,619	
	木材生産確保・増進便益	3,079,038	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	258,765	
総 便 益 (B)		19,609,352	
総 費 用 (C)		6,170,196	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,609,352}{6,170,196} = 3.18$		

